



製剤と粒子設計

第1回 新打錠研究セミナー

製剤と粒子設計部会では本年度より打錠技術に関して基礎から応用までをカバーするセミナーを開催します。打錠は、古くからある医薬品製剤の基盤技術の一つであり、粒子設計の観点では成形性、流動性、充填性等の粉体物性制御の重要性は十分理解されており、新しい医薬品添加剤グレード、プレミックス、コプロセス品も開発されています。一方、直接打錠、連続生産等のプロセスの進展もあり、新たな課題、増大する要望に対応することも必要と感じられます。

本セミナーでは、添加剤メーカーの動向、製薬メーカーでの対応及び打錠の基礎に関する講演、関連するパネル展示を行います。医薬品あるいは健康食品に携わる研究、技術者、これから打錠にチャレンジする多くの皆様の参加をお待ちしています。なお、セミナー後の情報交換のための交流会も予定しています。

と き 令和 5 年 9 月 7 日(木) 10:00～
と ころ **じゅうろくプラザ**
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11
<http://plaza-gifu.jp/access.html>

主 催 (一社)粉体工学会 製剤と粒子設計部会
共 催 (一社)粉体工業技術協会 粒子加工技術分科会

参 加 費 主催・共催学協会員
会社関係 ￥ 10,000
大学・公立研究機関関係 ￥ 6,000
学生 ￥ 2,000
非会員 ￥ 20,000
懇親会 ￥ 5,000

(非課税)

振 込 先 金融機関 十六銀行 三田洞支店
口座番号 (普) 0175319
口座名 粉体工学会 製剤と粒子設計部会 竹内洋文
(フンタイコウガクカイ セイザイ トリョウシツケイブカイ タケウチヒロミ)

恐れ入りますが振込手数料のご負担をお願い致します

申 込 方 法 ホームページ (<http://www.ppd-gifu.com/>) の参加申込フォーム、
または左記 QR コードからお申込み下さい



申 込 締 切 令和 5 年 8 月 23 日 (定員 100 名 定員になり次第締め切らせていただきます)

問 合 せ 先 粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代
e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp ☎ 080-9490-0689

プログラムー

10:00-10:10	【開会の挨拶】 ー新打錠研究セミナーの目標ー	一社) 粉体工学会 製剤と粒子設計部会 部会長 竹内洋文
10:10-11:50	【添加剤メーカーからのミニ講演】	
	1. 医薬品業界におけるサステナビリティの動向と展望	BASF ジャパン株式会社 加瀬 拓弥
	2. 近年の製剤技術に求められるコプロセス添加剤	富士化学工業株式会社 宮田 慶亮
	3. 直打法による口腔内崩壊錠の処方設計	DFE Pharma 株式会社 李 鑫鵬
	4. 添加剤を用いた打錠障害の改善	旭化成株式会社 玉利 楓
	5. 製剤化をサポートする機能性添加剤	信越化学工業株式会社 石丸 光男
11:50-13:20	昼食及びパネル展示	
13:20-14:00	【スペシャル講演】	
	新打錠研究セミナー発足！ ー直打シンポジウムから新打錠セミナーへの継承ー	マキノ製剤技術研究所 楨野 正
14:00-14:40	【打錠基礎講座】	
	粉体の物性と圧縮成形（仮）	岐阜薬科大学 竹内淑子
14:40-15:10	コーヒーブレイク、パネル展示	
15:10-16:00	【キーノート講演】	
	打錠特性の可視化と製剤設計への活用	沢井製薬株式会社 長村崇史
16:00-16:30	【ケーススタディ技術講演】	
	全星薬品工業(株)での打錠障害の改善事例（仮）	全星薬品工業株式会社 井上 勝久
16:30-16:40	【閉会挨拶】	名城大学 砂田久一
16:40-18:00	交流会	

※1 交流会は、講演会場にて予定しておりますが、状況により変更または中止する可能性があります

※2 都合により、講演内容を一部変更させていただく場合がございます

※3 要旨は直前にホームページからダウンロードしていただきます